

令和3年度 第1回板橋区環境教育推進協議会 意見回答一覧表

No.	資料	意見・質問	回答・対応
1	環境教育推進プラン2025について	プランの具体化において、残りの期間でより一層大きな成果が期待されるのは、「協働取組を促進するための施策」や、「地域での環境モデル」作りの確立ではないか。	環境教育の推進には、区を含む、区民・区民団体・事業者・学校等での主体的な取組及びそれらの連携・協働が重要であると認識しております。今後も皆様からの助言をいただきながら、施策を展開してまいります。
2		プランの目的である「行動変容」や「自発的な活動」の推進について、その方法論として、教育活動の効果に関するデータ解析が必要である。板橋が行っている環境教育の効果は行わない場合と比較してどうか、などの解析が欲しい。また、2025年、さらにその先を見据えて、環境教育の様々なプログラムがどのような効果をあげているのかの客観データが欲しい。実際にどのような教育プランが必要で、その実施効果の解析ができるようなプログラムを厳選して実践するために、環境経済系、環境社会系などの領域の専門家などの意見をききつつ、行動変容の成果を上げられれば、非常に良いプランとなるように思う。	事業の実施効果を検証することは大変重要であると考えております。今年度から、エコポリスセンターの環境講座等を受講した方を対象に、その後の行動変容について、試験的に後追い調査を行っています。今後ある程度の結果が集まりましたら当協議会にて報告させていただきます。
3		「行動変容」は、アンケートなどだけでは難しい点が多いので、個人の行動変容を把握する「ポートフォリオ評価」などの導入を考えていく必要がある。	
4		プランには社会状況により柔軟に見直すと言われている。コロナ禍において大きく世の中が変化している中、もう少し短い年数での目標が必要ではないか。	「板橋区環境教育推進プラン」には、5つの施策に「行動変容」を加えた6つのカテゴリーに、10の成果指標を設定しています。令和7年度の目標達成に向けて、一年ごとに、進捗を評価・分析しています。令和2年度には指標の見直しを行い、一部に補足情報を追加いたしました。次期プラン策定の際には、いただいたご意見を踏まえて、進捗を測ることのできる適切な指標を検討してまいります。
5		成果指標の範囲が非常に広いので、重要度が高いものから3つくらいに絞ったらどうか。例えば、施策1～5についての優先度を検討してはどうか。資料4の分析から課題となる要素抜き出し、共通するものの優先度を高めて対応するなどの方法が考えられる。	
6		成果指標の目標達成状況を6項目で評価したのはわかりやすいと感じた。一口に環境と言っても余りに幅広く、個人の問題としては取り組みが難しい。もっと身近な課題も必要ではないか。	
7	講座参加者が再び戻りやすい環境づくりをすることが必要だと思う。ホームページやSNSを通して、講座の内容などをしっかりと伝えることが大切だと思う。		
8	講座等について	リモートや動画の活用など、コロナ禍でも実施可能な様々な形を検討すると良い（子供たちの1年間は大切なので）。また、「環境カウンセラー制度」により活動している専門知識を持つ方を外部人材として活用するのも良いと思う。	環境講座参加者数については、新型コロナウイルス感染症の拡大による事業中止に伴い、大幅に減少しました。その一方で、対面での形式に替えて、Webを活用した事業（リモートでの出前講座・オンライン講演会・Webイベントなど）を行うなど、コロナ禍においても環境教育を推進してまいりました。今後も対面に限らず、Webによる外部人材活用など、実施可能な様々な形を検討するとともに、ホームページやSNSなどを通して、効果的に情報発信してまいります。

令和3年度 第1回板橋区環境教育推進協議会 意見回答一覧表

No.	資料	意見・質問	回答・対応
9	SNS等 について	SNSの活用は、若者や子どもを持つ親に対して有効であり、講座参加者の増加につながる。写真を増やしたり、ハッシュタグを多くつけたりするとよいと思う。写真などの情報が多いと、初めて参加する場合でもハードルが低くなるのではないか。	環境政策課では、ホームページやツイッターを積極的に活用し、区民のみなさんに情報を発信しています。今後もより効果的に発信できるよう、いただいたご意見を参考に、わかりやすく親しみをもてるコンテンツを提供してまいります。
10		環境教育プログラムを見ると、指導者向けのようだが、実施する部分を抜粋して一般向けコンテンツとして配信したら楽しそうだと思う。	
11		フォロワー数を着実に増やしているのはすごいと思う（ハクちゃん人形のアナログ感がすごく好き！）。ただ、ツイートの多くがwebページに誘導されていないのがもったいない。	
12		写真が多く使用され、分かりやすく、楽しい情報サイトだと思う。今後の更なる発展に期待する。特に「区内の自然、生物などについて情報をお届けしようと思います」というところに興味を持った。	
13	専門部会 について	各校種による展開について、以下のような「つながり」が見える。 中学生には「導入」として児童館と小学校の取組みを提示して展開させていくと、個別的に学んでいるのではなく、「学びのつながり」が基底にあるコトを理解させていくことができる。 さらに、児童館での「秋の収穫ごっこ」において、大根の収穫の後に「おおきなかぶ」（絵本：ロシア民話）を読んで「まとめ」としておくと、小学校での「地球にやさしい食生活」につながる。 また、小学校では、家庭科の調理実践を行っておくと、さらに実践と結びつけられ、「食品ロス」への視点も育まれるのではないか。	授業及びプログラムの検討の際に、日常の行動や次のステップへのきっかけづくりを含めるなど、各主体が「つながり」を意識した授業（または学習）ができるよう工夫してまいります。 今年度より、「実践」に重きを置いて、あらたに「環境教育実践研究部会」がスタートしました。「カリキュラム」に基づいた環境教育の実践及び「プログラム」の活用促進を目的として今後も取り組んでまいります。
14		「そつとのぞいてみてみよう」は身近な地域で暮らす生き物たちの特徴やハビタット（生息地）などについて理解を深めるもので板橋の自然を知る良い機会にもなると思う。	
15		専門部会の統合により、これからのミッションがより明確になった。実践、連携/パートナーシップ等、今後更に力を注いでいかれる対象等も鮮明になった。これまで築いてきた実績やパートナーシップが大きな力となって「板橋モデル」を構築していくことを期待する。	
16	協議会 について	協議会内の意見交換は、Googleチャットなどの気軽に透明性の高いやり方で進めるのも一案かと思う。	環境政策課では環境負荷軽減の観点から、“会場を使わない会議”を推進してまいります。現在は書面（メール）により開催しておりますが、今後の会議形態については、どのようなツールを用いるのが相応しいかご意見をいただきながら検討してまいります。

令和3年度 第1回板橋区環境教育推進協議会 意見回答一覧表

No.	資料	意見・質問	回答・対応
17	環境教育全般について	環境教育は原則として「人の意識と行動を変える」ものだと思う。子供たちへの環境教育は1年ごとの積み上げである。1年ごとに目標を持たせ、行動したかの結果を検証させ、評価し、翌年の行動に繋げる（PDCA）の振り返りと検証の仕組みが必要ではないか。	板橋区の環境教育は「板橋区保幼小中一貫環境教育カリキュラム」に基づいて行われており、発達段階（年代）ごとに目標を定めて実施しています。また、目標はFEEL(感じる心)、THINK(見方・考え方)、ACT(行動する力)に対して、子どもたちが身に付けるべく資質・能力・態度を具体的に示しています。さらに、各学校においては、年間を通して計画的に実践しており、今後も1年ごとの振り返りと検証を積み重ねてまいります。
18		板橋区環境推進プラン2025でも、世代に応じた環境教育や幼児期、地域と連携した環境教育への取り組みを重視されているが、まさに幼児期からの成長過程において、環境教育の継続が非常に大事だと思う。	板橋区の環境教育は「板橋区保幼小中一貫環境教育カリキュラム」に基づいて行われており、保育園から中学校まで一貫したねらいをもって実施しています。特に幼少期の体験は、その後の子どもたちの学ぶ意欲を育み、未来の社会を担う人づくりにつながるものと考えております。今後も幼少期の子どもたち、さらにその保護者を対象とした環境教育を推進してまいります。
19		基本的な考え方として、環境教育の目的に、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた位置づけ、果たす役割、機能や方法を共有することが今後さらに重要ではないか。	近年、気候変動による影響が危機的様相を呈しており、温室効果ガスの排出量を削減する緩和策だけでなく、自然災害等への適応策に係る取組も求められています。区は、脱炭素社会の実現に向けて、令和3年4月、「板橋区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）2025」を策定しました。将来像である「SDGsの彼方に、地域と創るゼロカーボンシティ板橋」を目指し、環境教育が果たす役割、意義や機能などを共有し、より一層取り組んでまいります。
20		防災/減災のために、環境教育の意義が確認されることを期待する（とりわけ、気候変動における緩和と適応の両面の観点で）。	
21		「ゼロカーボンシティ」宣言が行われる機運醸成のために、環境教育の意義や機能、関係性や方法が共有、向上されることを期待する。	